

定期巡視点検管理システム

橋梁や砂防・河川施設の定期巡視点検の点検結果データを登録・閲覧するシステム

橋梁 点検支援システム

2012年度 運用開始

▼ログイン画面



▼メインメニュー



点検結果一覧▶



点検写真一覧▶



砂防 定期巡視点検管理システム

砂防・急傾斜・地すべり区域

▼ログイン画面



▼メインメニュー



点検結果一覧▶



点検写真一覧▶



河川 定期巡視点検管理システム

試行運用

▼ログイン画面



▼メインメニュー



点検結果一覧▶



点検写真一覧▶



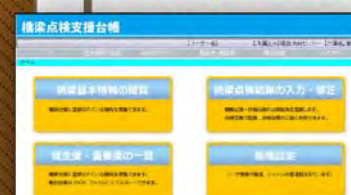
2014年度



台帳・点検管理システム

総合パンフレット

点検管理システム



台帳管理システム

道路

河川

砂防

港湾
漁港

『台帳・点検管理システム』の構築

システム構成イメージ	1
台帳・点検管理システム	2
WebGIS	3-4
定期巡視点検管理システム	5-6
	7



公益財団法人 鹿児島県建設技術センター

台帳運用支援サイト <http://www.kago-kengi-cals.jp/>

公益財団法人 鹿児島県建設技術センター

Kagoshima Construction Technology Center

『台帳・点検管理システム』の構築

建設技術センターでは、県・市町村における公共土木施設の計画的・効率的な維持管理への取り組みの一環として、2004年度から橋梁等の道路施設情報を管理する「道路施設台帳システム」の構築に着手し、施設台帳の電子化や点検支援システムの構築を行っています。

なお、2011年度には地理情報システムを利用し、「道路」「河川」「砂防」「港湾・漁港」に係る各種台帳と工事履歴・図面や維持管理点検結果のデータ等を総合的に一元管理する「WebGIS」システムを構築しています。

今後、当センターにおいては、社会基盤施設の老朽化に伴う『維持管理の時代』に向けて新たなシステム構築を進め、継続的なシステム運用を行ってまいります。

システム構築のメリット

1 ネットワークを介した情報の共有化

ネットワークを介して白地図・施設台帳データを多数の人が閲覧することができ、関係機関間で情報の共有化が図れます。

2 データ更新が容易

一度、施設台帳の電子データを作成しておけば、その後データ更新を行う際、作業が容易になります。

3 データの継続的な履歴管理が容易

今後の施設維持管理に必要となる過去の工事履歴や点検結果などの情報について、継続的なデータ管理が容易となり、災害発生時における報告資料作成や施設の長寿命化計画等を策定する上で有効な情報となります。

4 事務処理の効率化

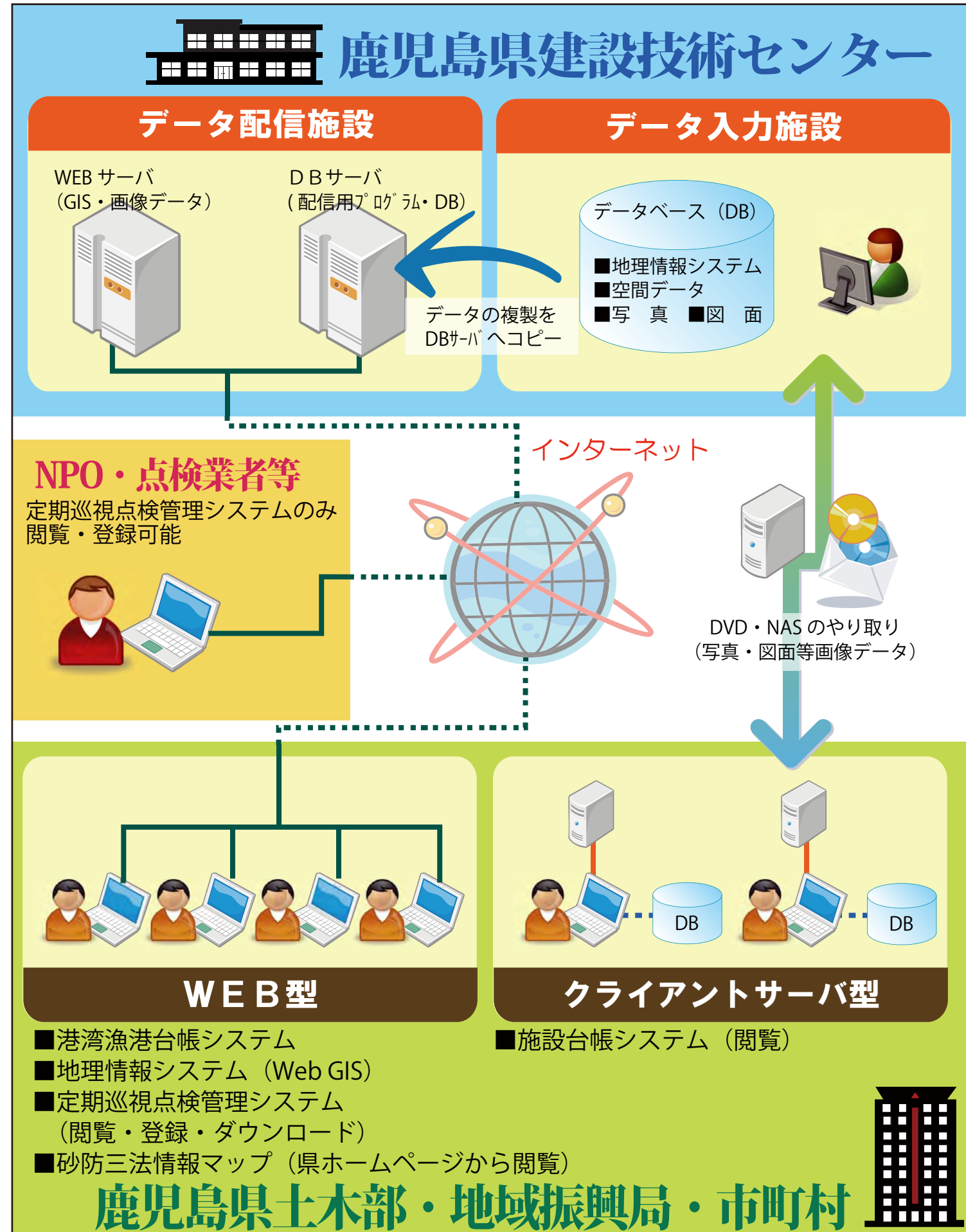
施設台帳の電子データを使って容易にデータ編集ができ、国などからの調査依頼に対応する際の事務処理の効率化につながります。

5 白地図や施設台帳とのリンク

地図情報システム（WebGIS）を使って、白地図や各施設との相互の情報共有化を図ることができます。

システム構成イメージ

システム構成イメージを下図に示します。



台帳・点検管理システム

道路・河川・砂防・港湾・漁港の各台帳や写真、発注履歴、補修履歴などを一元管理するシステム

補修計画への素早い対応
 「施設の位置」「構造諸元」「写真」「発注履歴」「補修履歴」「一般図等の図面」などを記録
 現地調査の簡略化

地理情報システム (WebGIS)
 P.5-6

- 道路・河川・砂防・港湾・漁港関連台帳
- 道路現況台帳付図、河川現況台帳付図等
- 鹿児島県管内図 ■オルソ画像 (H21)

定期巡視点検管理システム (Web)
 P.7

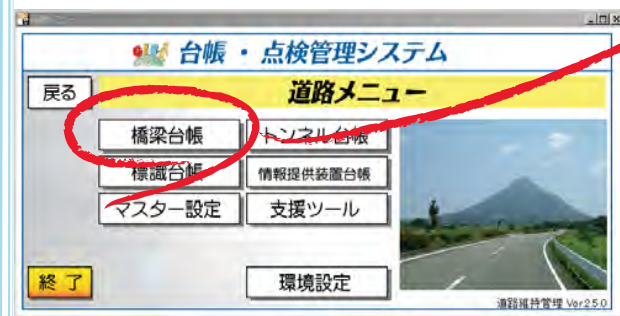
- 橋梁点検支援システム
- 河川定期巡視点検管理台帳
- 砂防定期巡視点検管理台帳 (砂防指定地・急傾斜・地すべり区域)
- 砂防指定地等行為 (占用) 許可申請管理システム

港湾・漁港

- 港湾台帳
- 漁港台帳

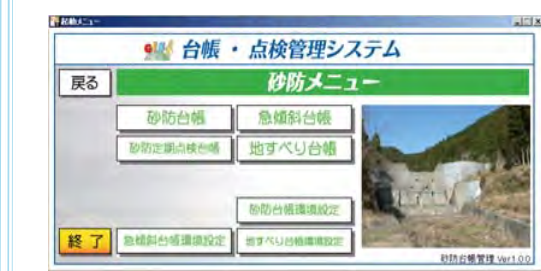


▲システム総合起動メニュー



- 橋梁台帳 ■トンネル台帳 ■道路台帳 (構築中)
- 標識台帳 ■情報提供装置台帳

道路



- 砂防指定地台帳 ■急傾斜区域台帳
- 地すべり防止区域台帳
- 砂防設備台帳 (えん堤工・溪流保全工・山腹工)
- 急傾斜施設台帳 (法面工・擁壁工)
- 地すべり防止施設台帳

砂防



- 河川現況台帳調書台帳 ■海岸保全区域台帳
- 河川施設台帳 (水門・樋門・樋管・固定堰・可動堰)
- 海岸施設台帳 (堤防 (護岸)・その他)

河川

▼橋梁台帳 トップ画面

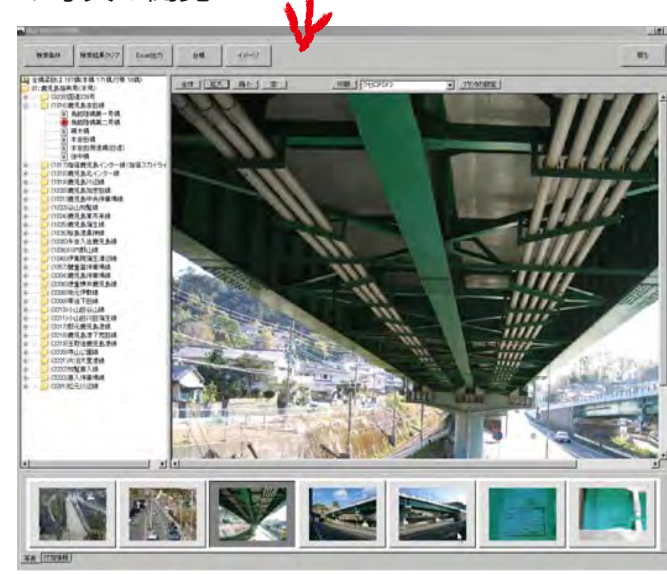


各施設台帳トップ画面の「基本情報の閲覧」から台帳・写真・図面等の閲覧ができます。

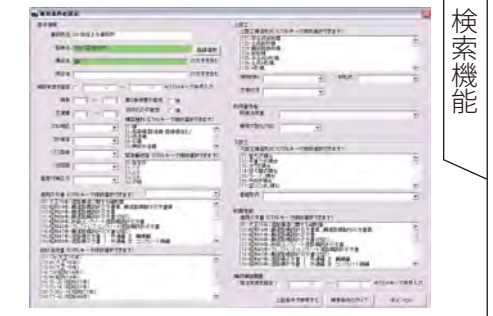
▼基本情報の閲覧



▼写真の閲覧

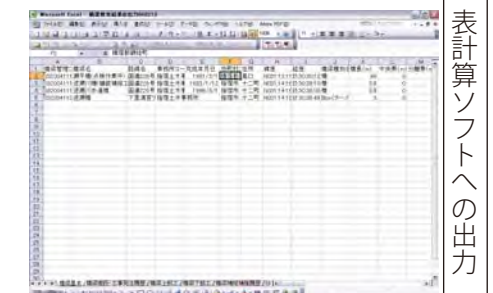


施設データをツリー構造によるわかりやすい表示形式にしています。



検索機能

検索条件の設定、検索結果一覧を表示できます。さらに、個別のデータ表示 (閲覧画面等) まで可能です。

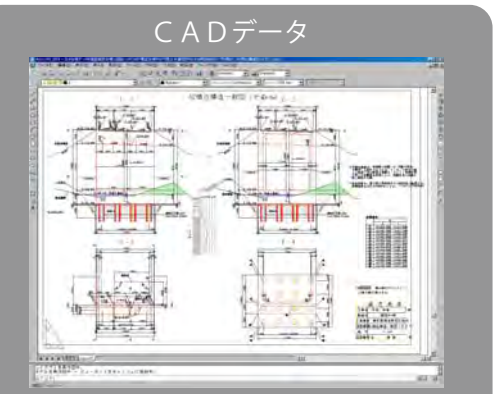


表計算ソフトへの出力

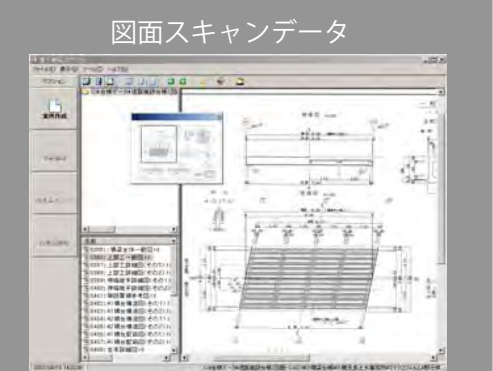
施設データを CSV または Excel ファイルへ出力出来ます。(データベースからのデータ取り出し可能)



道路施設台帳の印刷



CADデータ

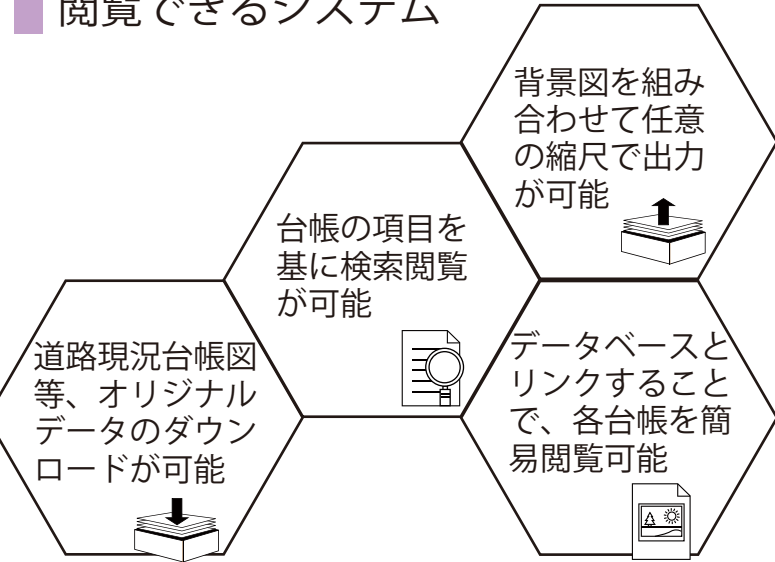


図面スキャンデータ

図面パス機能があり、図面データを電子納品コアソフトで閲覧・印刷することができます。

地理情報システム「WebGIS」

鹿児島県管内図や白地図等を利用して、指定地台帳や施設台帳を簡易閲覧できるシステム



道路

オリジナルデータのダウンロードが可能

砂防

台帳の帳票出力が可能

河川

定期巡視結果データの閲覧が可能

道路現況台帳図面を CAD / Docuworks 等で利用できます

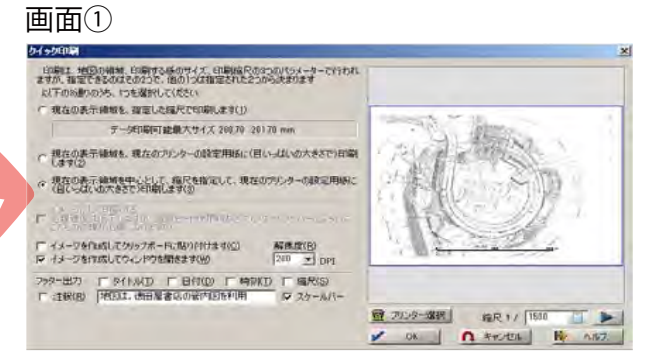
WebGIS を利用して道路現況台帳図面を、直感的に場所を探すことができますので、従来のように図面を広げて探す煩雑な手間が省けます。

merit1

従来の道路現況台帳図面は、400m 毎に分割されているため、図面をつなげる必要がありました。WebGIS では、連続図を作成していますので、図面をつなげあわせる必要はありません。

merit2

WebGIS システム

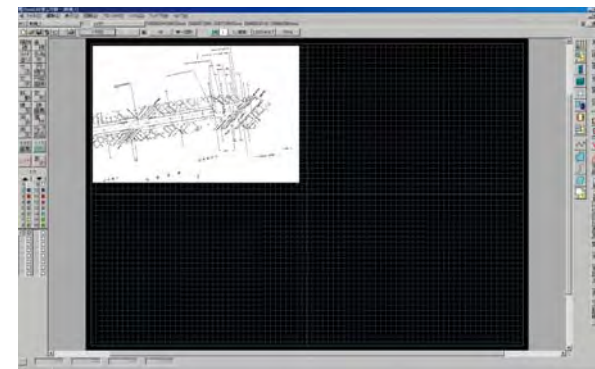


出力したいデータの縮尺などを設定します。

メニューの [ファイル] - [クイック印刷] を選択

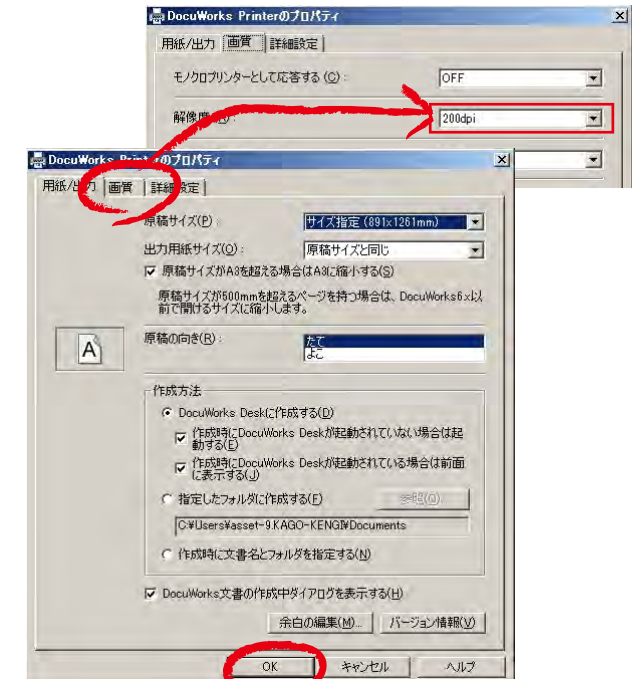
CAD で利用

- ① 画面①で「イメージを作成してウィンドウを開きます」にチェックを入れ、JPEG 形式で保存
 - ② CAD を起動し、[編集] - [挿入] - [図] - [開く]
-
- ③ 読み込み完成！
画面①で設定した縮尺を保ち、読み込むことが可能です。



Docuworks 等で利用

- ① 画面①で「プリンターを選択」ボタンをクリックし、「Docuworks Printer」を選択
- ② Docuworks Printer のプロパティにて、用紙サイズ・解像度などを設定し、OK ボタンをクリック



- ③ Docuworks ファイルが出力されます。